解説

本格化した国体誘致……★

昭和二十九年一月に国体誘致委員会が発足してから、昨年九月これが国体開催準備委員会に改組され、国体準備もいよいよ本格的になつてきました。

昨年十二月の第三回常任委員会では、特に予算編成の基本方針についていろいろ協議しました結果、次のようなことが決定されました。

▼本部運営費は縮少するよう再検討する。

▼本部としては一般募金は行わない。しかし大口募金については、関係市町村と連絡の上行う。

▼本部運営費及び駐車場・道路・プールの3/4、ボート・馬術・射撃・開閉会式場などの特殊的な経費は本部で研究する。

▼国庫補助は県の収入とし、本部運営費にあてる。

▼入場料収入の六割は本部収入とする。

さらに、予算の問題や開催地・開催種目についても、いろいろ協議されました。

その中で、開催地、及び種目で問題となつたフェンシングは、開催希望地があれば開催することにし、なければ返上するということになりました。

以上のように常任委員会で決定を見ましたので、直ちに第十五回国体開催地申込を日本体育協会と文部省にしました結果、十二月三十日これが受理されました。そこで、日本体育協会では、この三月に国体委員総会を開き第十五回国体開催地を決定する運びになる模様です。

このために、近く県下の各開催地に開催準備委員会が発足し、事務局の陣容も整い、県国体事務局も県庁裏門内に完成した新庁舎に移転し、明年に迫つた国体熊本開催準備にいよいよ本格的な活動が進められるわけです。

なお、第十五回国体の本県開催の一つの鍵であるプール建設は、用地問題、設置資金についていろいろ行きなやみ、何回か暗礁にのり上げてきましたが、昨年十二月に入つて事態が好転し、最も大きな難関とされた敷地問題も大蔵、建設両省の了解も得ることができました。そして熊本城内レッド地区の行幸橋寄りに、無償貸与というような決定を見ました。

すでに日本水泳連盟の現地指導も終り公認競技用五〇メートルプール、飛込プール、児童プールの設計も、日本水泳連盟に依頼し、総工費六〇〇〇万円でこの二月着工、六月中には竣工される予定です。

このプールは、熊本市の中心部にあたつて市民の足も近く、近代的な建築美と緑一色の城内の風光がよく調和し、スポーツ公園としての使命をも充分に生かすものと思われます。

（体育保健課）

第十五回国体開催地及び開催種目

開催地	種目	競技場
熊本市	陸上競技	水前寺競技場
	体操	熊本市体育館
	自転車	熊本競輪場
	バスケットボール (A)	済々黌体育館 熊本高校体育館 市立高校体育館 熊本工業高校体育館
	バレーボール (B)	西出丸バレーコート
	ラグビー ソフトボール	湖東中学校グラウンド 自衛隊鍵軍グラウンド
	ボクシング	
	高校野球（硬式）	水前寺球場
	水泳	熊本城内プール 熊本高校プール
	硬式庭球 ライフル射撃 弓道 フェンシング	
八代市	一般軟式野球	興国上野球場 興国人絹球場
	バレーボール (A)	第三中学コート
	剣道	市体育館
	サッカー (B)	工業高校グラウンド 興国人絹グラウンド
人吉市	ソフトボール	城内野球場 人吉高校グラウンド 第二中学グラウンド
水俣市	相撲	八幡相撲場
	ハンドボール	第二中学グラウンド 第二小学グラウンド 塩浜グラウンド
荒尾市	一般軟式野球（準硬式）	三井四ツ山球場
	ホッケー	市営競技場
山鹿市	柔道	山鹿中学体育館
玉名市	軟式庭球	玉名高校テニスコート
	レスリング	玉名中学体育館
菊池市	馬術	市営グラウンド
	バドミントン	七条中学体育館
本渡市	高校野球（軟式）	天草高校グラウンド
宇土市	ウエイトリフティング	宇土高校体育館
松橋町	サッカー (A)	西部中学グラウンド 松橋高校グラウンド
御船町	バスケットボール (B)	御船中学体育館
一の宮町 阿蘇町	卓球	一の宮中学体育館 内牧中学体育館
長陽村	クレー射撃	湯の谷射撃場
一の宮町	登山	阿蘇山系
上松球磨村 百済来村	漕艇	荒瀬ダム

★国体今後の進行は県民全部のもりあがる力が一団となつて準備体制を強化することにかゝつています。どうぞみなさん一しよにがんばつて下さい。

（前頁から）

といわれて間もなく教室に入つてゆくとこの学校が三十二年から三十四年にかけての林業研究指定校といわれているだけに、杉のさし穂の採取から植えつけたその活着状況に至る実験発表を、生徒に教えているところ。

生徒たちも、自分たちで実験した体験の中から、松本先生の説明する理論に一つ一つ実感をこめて耳を傾けている。

ふと、ピアノの音がきこえてきたので隣室をのぞいてみると、女の先生が女生徒に対しての音楽教育。グランド・ピアノが教室の一角を重々しく占めて坐つていた。

授業を終えて職員室に戻つた松本先生に、生徒の将来を訪ねてみると

就職先は木材方面が……

「そうですネ、進学率は約三〇パーセント、就職率が二五パーセントで残りはさつそく家業に就くようです」

「就職先は主にどの方面ですか？」

「何と云つても木材関係の会社がもつとも多いんですよ。しかも他県の方で、例えば日新木材という会社なんぞ毎年です。やはり、京阪神方面が圧倒的ですね。ごぞんじのように、毎年春に出ますあの就職列車で元気に巣立つてゆくんですよ」

「どうでしょう、生徒の評判は？」

「実地で体験し勉強した職業教育が大へん役立つていることを生徒の便りで知りましたね。先生たちもこれで早妻甚があつたと喜んでいるところです」

と松本先生は松崎校長と顔を見合せながら、その嬉しそうな表情をいつぱいにたゝえていた。

校舎を出ると、山の渓谷は早くも傾きかけた日光に遮られて、明るさを次第に失つてゆく。

校舎の庭や広場に竹箒をさげた男女の生徒が三人四人とかたまつて掃除にかゝろうとしている。遠くから通う生徒たちのために増発されたスクール・バスの停留所では、下級生の男女生徒が追いかけつこやおハジキをしながら、バスを待つ風景もみられる。

やがて故郷を失う日がくる

さきほどから地底を揺るがすような響が、向うの山ぞいのあたりからきこえていたが、いま外に出てみて、それが市房ダム建設に伴う付替道路工事のダイナマイト炸烈音であることを知つた。なるほど、この水上中学校も、やがては深々と水を貯えたダムの底に消えてゆくことだろう。せつせと校内の廊下に雑巾がけをする女生徒や庭掃除のあい間に竹箒をふりかざして馳けめぐる男生徒を眺めながら、夕映えのする水上中学をク湖底のふるさとクへと思いをめぐらせて先を急いだ。

（広報課）